

令和元年度

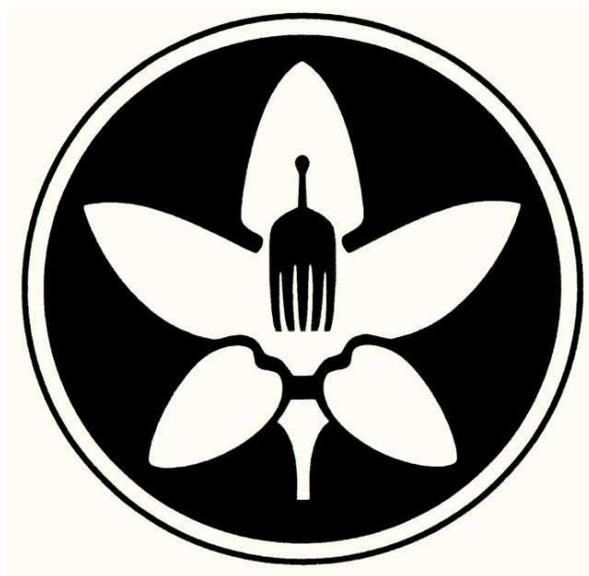
文部科学省事業

地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）

研究開発実施報告書（第1年度）

研究開発名

未病・防災～高齢者比率約4割の町で高校生が挑む少子高齢化



神奈川県立山北高等学校

神奈川県立山北高等学校

地域が…、学校が…、活躍する。それが未来へ…。

神奈川県立山北高等学校
校長 藤田 正樹

本校は、西に箱根連山、北に丹沢の山々を抱え、南には暴れ川の酒匂川が位置する自然豊かな環境のもと、「スポーツの山北」、「部活動の山北」として78年の歴史を刻んできました。しかし、首都圏には含まれていますが、神奈川県西部地域、特に山北町は、県内3番目の広さを持ちながらも



人口流失と少子高齢化が加速度的に進み、2014年には民間有識者組織から近隣の町とともに「消滅可能性都市」と名指しされるに至りました。

そのような中、本校は令和元年度より、文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」の指定を全国の20校のうちの1校として受けました。本事業は新学習指導要領を踏まえ、これからのSociety5.0を迎えた社会の中で、地域を支える人材の育成に向けた教育改革を推進すること、つまり、高等学校を核として地域の自治体、産業界、教育機関がコンソーシアムを構築し、探究的な学びによって地域課題等を解決していくために地域振興の核として高等学校の機能強化を図るという目的を持っています。これはまさに地域が、学校が生き残るために必要なシステムを構築するための事業であると考えます。

これから本校の目指す姿は、地域の様々な方々と地域協働のなかで、「地域人材育成学校」として地域を支える人材を育成することです。そのために、今回、この文科省事業では、「総合的な探究の時間」（本校では「未来探究」という名称）をベースにSDGsをテーマ（未病と地域防災を中心に）に掲げながら取り組みました。この冊子に記載した様々な取り組みや先進校の取り組みを視察させていただく中で、特筆されることは、生徒たちはもちろんのこと教員たちが明らかに変容し、若手の教員を中心にトライアンドエラーの精神で時間を惜しんで前向きに取り組んでくれたことです。残念ながら今年度は、諸事情により、全国サミットを始めとした全国的な催しに生徒を派遣することができませんでした。教員たちが学んできたことや様々なアイデアを来年度の仕組みや探究活動、授業などに活かせるようにしていきたいと考えています。引き続き、関係の皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

着実に努力 凡事徹底 自学自習



未来へ向かう
探究のキセキ

Road to Exploration



2019

Yamakita High School

地域との協働による高等学校教育改革推進事業
地域魅力化型研究開発校

目 次

○	巻頭言	
○	目次	
I	研究開発の概要	1
	2019年度地域との協働による高等学校教育改革推進事業構想調書	2
	研究開発概念図	15
	ロジックモデル	16
II	令和元年度の研究開発の内容	17
III	取組概要 「未来探究」の学び	21
	「総合的な探究の時間」の取組について～SDGsをテーマに～	22
	SDGsを知ろう	23
	未来探究に関わる地域を知るための講演会	27
	山北町の魅力発見	29
	山北町フィールドワーク	
	「森林整備体験」「竹林整備体験」「駅前商店街まちあるき体験」「歴史遺産巡り体験」	31
	未病	40
	防災	45
	評価ルーブリック・アンケート調査	47
IV	研究開発実施の効果と評価	51
V	先進校視察報告	53
	1 愛知県立愛知商業高等学校 清林館高等学校	54
	2 宮城県多賀城高等学校 ほか	55
	3 愛媛・岡山方面	59
	4 長野県白馬高等学校	63
	5 宮崎県立飯野高等学校	65
	6 関西方面視察	66
	7 浜松学芸中学校・高等学校	69
	8 熊本県立上天草高等学校	71
	9 愛知県立海翔高等学校	72
	10 名古屋市立名東高等学校	73
	11 茨城県立並木中等教育学校	74
VI	関係資料	76
	1 運営指導委員会（抜粋）	
	2 目標設定シート	
	3 高校魅力化評価システムから	
	4 Classi 掲載記事	
	5 リクルートキャリアガイダンス掲載記事	
	6 教員研修報告 総合的な探究の時間「未来探究」をつくろう会（先進校視察報告会）	